

# おんじゅく

The Onjuku Koho

75-10

昭和50年  
第145号

千葉県御宿町役場発行



朝早くえび網漁の収獲を終え 網の手入れを家族総出で行う

# 勇気ある行動とる

関野 正治 (新)

明るく住みよい町づくりを基本理念とした町政を推進するために町民の皆さんから支持された尊い一票を大切に、皆さんの声を町政に反映させるべく勇気ある行動をとりたい。



# 町政四年間にかける

## 冷静に町政の反省を

藤 井 昇 (新)

皆さまにいただきました、清き一票に責任の重さを感じており、必ず議員としての責務のうえで心魂を打ち込んで果たします。町政も石油ショック以後の経済の変動で大変な時期です。国も県も行政を変えてきておりますので冷静にいままでの町政をかえりみ今後の町政をよく考え、町民の声を取り入れて町の進むべき道を選ぶべきだと思います。観光開発事業、水道事業等、いままででない重大な事業がたくさんありますが、町民に不平のない町民のためになるよう努力して、微力ではありますが住みよい立派な町づくりに一生懸命働きます。



## 抱負を語る新議員

はげしい町議会議員選挙を戦い抜いて、見事当選の栄誉を得た、新議員に、「町民の代表」としてこれからの四年間、なにを目標に活動して、町民の期待に応えるのか、その抱負をさいてみました。

## 間違いは叱って下さい

貝塚 徳治 (現)

私には、いま一人心の友がありません。なにもいわず当選した時、あの大きな手で私のかたをぼんとたたいた友達、涙いっぱいいたため私を見た友達……。この友人のため一生懸命町のため、住民のために務めようと思えます。四年ごとにある選挙、思いあがろうとする心を引きしめる選挙、苦しかった選挙、友人の当選を喜び知人の落選をかなしむなど思い、出の多い選挙でした。皆さん私たちの行動を見守ってください。まちがいがあつたならしかってください。注意もしてください。



# 教育機器の整備に努力

佐藤高二(新)



私が常日頃考えておりましたつぎのことさらに力をそそいで行きたいと考えます。

一、農業地域の振興——経済の変動と、社会環境の変化による農家経済のびっ迫は衆目の見るところですが、農業意欲の向上、農業大型化の促進、兼業収入の確保および雇用の安定化を中心に道路網の整備拡充と全面舗装に努力し、地域格差の是正に全力をつくしたい

二、教育問題——学校施設は相当に充実してきましたが、体育館プールなどのできていない学校もあり、教育機器の整備は大幅に遅れています。早く整備するよう努力します。幼児対策として組合立布施保育園の新設に努力します。

三、観光事業——御宿町が政策の上からも経済の面からも軽視できないのがこの問題ですが、今後の方向を良く見定めて、前記開発のあり方とも考え合せ、町発展の基盤となるよう努力します。

# 皆さまとともに町政を

鶴岡光雄(新)



初心いつまでも忘れることなく住民の住みよい町づくりのために町民の皆さまの中にとけこんで微力ではありますが、その声を議会に反映させていきたい決意しております。

とくに皆さまや先輩の正しいご指導をいただき、一生懸命働かせていただきます。

観光御宿にふさわしい町道の整備、住宅問題等全力をつくしていきたいと思えます。

# 町民負担の軽い水道を

式田初夫(現)



さて、小生も今回で三期目に入りますが、三期目の町議としての抱負は、

一、めぐるまれない人たちに暖い手を差し伸べるようにしたいと考えます。

例えば、重度障害者などへは、ただ金をやったからよいのでなく年に何回かは、ホームヘルパーのような人たちが家庭訪問してその子およびその家庭の相談相手になる、心のかよった福祉が必要であると考えます。

二、つぎに町民関心の的である水道をぜひ完成させたいと考えます。ただ今までの水道設計画では弱い人、すなわち町民に負担がかかり過ぎる傾向が多分にあります。今後は、もっと国県の補助金、出資金を多くしてもらい、少しでも町民の負担のかからない方向に持って行って水道を完成したいというのが、私の町議としての抱負です。

# 水確保が町政最大の要点

高梨秀治(現)



昭和五十年代わが町の最も大きな事業は水道事業であると思えます。なに人も地下水貧弱なわが町において将来上水道の必要なことは論をまちません。

さいわいわが町は、自然景観に恵まれ、観光を中心とする産業の導入育成に意を用い、これらの問題に対処しようとしておりますが、あらゆる産業は、水資源の確保なくしてその発展はのぞめません。当面、問題となっております水道事業も企画の当初と現在では四十八年をさかいとして、経済環境の急激な悪化により行く手は、きわめてけわしいものとなっております。私どもは住民の皆さまに選ばれた者として、皆さまが何をのぞみ期待しているかを十分かみしめて、きびしい環境に対応し、これらの諸問題を経済性の面より検討し、研究して住民福祉を第一に全力を傾注して問題解決の方向を求めたいと念願しております。

# 地道な努力を積重ねて

鶴岡平一郎(現)



謙虚に議員の職責をもう一度見つめてみる。

一、町当局もわれわれ議員も「より住みよい町づくり」という究極の目的は同じである。

二、全町民の代表であるという自覚のもとに売名的言動を慎み地道な努力を積み重ねる。

三、感情に走らず常に冷静に良識をもって諸事を判断する。

# 明るい町づくりに全力

井上泰爾(現)



議員としての責務の重大さを自覚するとともに、町民のみならずと話し合いをし、皆さま方の要望している事柄に十分これを尊重し片寄ることなく町当局と協議を重ね実施可能なことがらについて、執行出来るよう、一層の努力をいたしたく思っております。

第一次産業の農漁業の振興にはじまり、第三次産業の観光にいたるまで種々ありますが、いずれも大事な事業で、あくまで公平に明るい町づくりに努力いたしたく、最後に住宅地道路の悪さ、山村部の悪路は一日も早く整備が必要と思われまます。皆さまがたのご指導を切におねがい申しあげます。

# 心のふれあい大切に

神楽祐司(新)



御宿町の将来を展望するとき、まず観光という言葉につきるまでもなく、その観光資源にめぐまれていることは衆知のとおりであります。しかしながら、夏の海水浴シーズンのみにかたよりすぎていることは町当局としても頭を痛めていることと思います。

通過観光地、夏季型観光地から四季型観光地に脱皮するため海岸の清掃、冬河川の流末に滅菌器の設置など環境整備とあわせて、ホテル旅館、民宿業者従業員に対する適切な指導教育を行うとともに近代化促進とその助成および観光宣伝の強化をはかってゆかなければなりません。

ともかく御宿へきてよかったと心の中に残るものを業者はもちろん、町中で外来者に対する心の接待を心がけてゆかなければなりません。

観光御宿のイメージアップをねがい抱負の一端を申し述べました。

# 私心すて町政に取り組む

江沢富士松(現)



私はまず私心すて、自らの姿勢を正し、議員として哲理をしかりと身につけ町政に取り組む町民の誰からも信頼される清潔な町政実現につとめたいと決意を新たにしております。

町当局も議員も住民も多くの課題をかかえている御宿町の現況を直視し、おたがい責めあうことなく小異をすて大同につき三者一体となつて自覚し、明るい住みよい町づくりに精一杯の努力をしたいと思ひます。この考えのもとに私はつぎのことを信条とします。

- 一、御宿町の基幹産業である漁業農業の振興
- 二、自然保護を前提とした公害のない観光開発
- 三、商工業の振興対策
- 四、上水道事業計画の洗い直し
- 五、日の当たらない弱者の福祉対策などです。

皆さまのご批判ご意見をおきかせくだされば幸甚と存じます。

# 町民の期待に応える覚悟

吉野寅造(新)



町議としての抱負の一端を申しのべさせていただきます。私は、町政が地に着的な姿で、常に躍進することを望む者であります。

- 一、慎重会議を重ね行き詰まるような町政を起さぬこと。
- 二、明るい町づくりの声はよく聞きますが、さらに細かいところに一段の努力をすべきだと思います。

思うに町は、町発展のシンボルとして、観光を取り上げておりますのは誠に結構だと考えますが、白い砂浜で名をうる御宿海岸に年ごとに砂浜が減っていく感があります。私は大自然を生かした発展を望む者であります。

最後にへき地、農村の発展はなにより道路の整備新設が急務と思ひます。以上をもって私の抱負の一端を終りますが今後力いっぱい勉強して町民各位皆さまがたのご期待に報いる覚悟であります。なにとぞよろしく。

# 人間尊重の政治を

小池 健(現)



みなさんのご支持により四度議員の重責をになうことになりました。私は人間尊重の町政、子どもを大切にす町政の確立を目ざし、一、教育的環境の整備

明るく豊かな町づくりの根源は人づくりからという考えから、

1、交通安全対策……通学道路整備

2、児童館、青少年センター建設

二、総合運動場の整備

1、老人福祉……家庭奉仕員の増員、独居老人の有線電話の無料設置増設

2、住宅不足の解消……特殊住宅の建設

三、休日、急病診療体制の確立

広域行政圏事業による診療所の設置等の早期実現に努力して行

きたいと思えます。

町民のみなさんの適切なご指導をお願いいたします。

# 人にも自分にも誠実に

岩崎栄一郎(現)



当選しての抱負を語れといわれましたが、七回目の当選に重責を感じております。

どのような立派なことをいっても実践が伴わなければそれは巧みな言葉にすぎません。

町民の代表として、町当局に対し希望と要望は限りなくありますが、インフレと不況続きのなかで御宿町の財源は大きなシワ寄せをうけています。これらのなかで、

まず住みよい御宿町の発展に努力致しますが、町の発展は町民各位の生活の向上をまず第一に取りあげてゆかなければならないと思えます。「住民の生活の向上なくして町の発展はあり得ない」

皆さまのご意見ご要望を卒直に議会で反映させ、人にも誠実に、自分にも誠実にまい進してゆきます。そして御宿町に生まれてよかった、住んでよかった、といわれるような町づくりに努力をお願いします。続けますのでなにかとご相談ご意見などいただければ幸いと存じます。

# 愛郷心をふかめたい

石田行雄(現)



何をしたらならば御宿町の発展になるのか、何を求めなければならぬのか、いまの時点において大きく考えてみたい。

まず、農、漁業の振興の基調の上に立ってめぐまれている風光明媚の自然の活用と整備である。

すなわち、観光の発展には住民を「はしら」とした綿密なる企画をもって、道路、公害、衛生等にちからを入れて考えなければならぬ。そして何百年か培われてきた、「おんじゅく」の特有の人情性を失わなないように愛郷心の育成も豊かに生きぬくための新しい郷土づくりに私は心魂をかたむけてみたい。

# 公正・適格な判断力養う

江沢一雄(現)



よりよき議会をつくるためにはがんばります。いまの議会にながいちばん必要と思いますか。私はあえて公正適格な判断だと断言いたしたいのです。

また議事については通り一辺的な質問でなく、誠意をもって、しんげんに発言し、当局および議員の皆さまに感銘をあたえるようなことでなければだめです。

なお、このへんで特に考えなおさなくてはならないことは「住民のすべきこと」、「議員のなすべきこと」、「町当局のなすべきこと」をそれぞれの立場で再確認をしながらはならない時期にきているのではないのでしょうか。

特に経済成長時代は過ぎ、低成長時代に入り、国が赤字国債を発行することがとりざたされており、市町村財政にハネカエリは必然であります。町当局、町民、議会、三者一丸となって協力しあい、よき町をつくりあげましょう。

# 町民本位の町政に奮闘

井上千太郎(新)



不況とインフレの中で町民の生活は苦しく、さきゆきが不安です何とか町民本位の町政でこの苦勞を少しでも軽くしてもらいたいと誰しもが願っています。

ところがいまの御宿町政はこのみんなのねがいにこたえていません。夷隅郡の市や各町より、「豊かな町」とうらやましがられていた御宿町ですが、長い間の保守町政に対して多くの町民から不満や批判の声が高まってきました。

私はこのような町民不在の町政ではなく町民本位の町政をめざして奮闘し、町費のむだ使いをやめさせるために、

一、議会には手弁当で出席、公費による宴会には欠席

二、町民のナマの声を議会に持ちこみ議会では必ず発言する

三、議会の本当のことを知らせる議会報告を発行し

清潔な御宿町政をめざして公約実現のためにがんばります。

# 議長に岩崎栄一郎氏選ぶ 副議長は江沢一雄氏再選

議長 副議長の選出や議会常任委員、一部事務組合議員など議会選出議員の顔ぶれがでそうとにもに議席番号など、一連の議会人事がつきのようにきまりました。

○ 議長 岩崎栄一郎  
○ 副議長 江沢一雄

○ 常任委員

○ 総務常任委員長 高梨秀治

○ 副委員長 式田初夫

○ 委員 白鳥時雄

○ 委員 藤井昇

○ 委員 神楽祐司

○ 委員 佐藤高二

○ 委員 石田行雄

○ 委員 鶴岡平一郎

○ 委員 貝塚徳治

○ 委員 鶴岡光雄

○ 委員 井上千太郎

○ 委員 吉野寅造

○ 委員 小池健

○ 委員 井上泰爾

○ 委員 江沢富士松

○ 委員 江沢一雄

○ 委員 関野正治

○ 委員 式田初夫

○ 委員 井上泰爾

○ 委員 吉野寅造

○ 委員 夷隅郡市広域市町村團事務組合議員

○ 委員 岩崎栄一郎

○ 委員 江沢富士松

○ 委員 高梨秀治

○ 委員 小池健

# 野沢温泉村訪問の記

御宿の子どもにスキーを

野沢の子どもに海水浴を

金井英一郎



野沢温泉村スキー場

一流同士  
が  
手を結ぶ

海の子とも、山の子ともが友だちになる。海の子は山の生活を山の子は海の生活を体験する。交流を深めながら成人して行く。それはどんなにすばらしいことだろう。

そんな発想から、日本中のあちこちで、姉妹村とか相互交流とかが組まれている。あるものは成功して大きな成果を喜んでているが、あるものは期待外れで、気まずくとり止めになる。失敗例の多くは自治体規模の不つり合いか、政略のからみか、メリット追求の度がすぎたかのいずれかである。なぜか夫婦の縁組みに似ている。

野沢の片桐匡さんと、子どもの相互交流について話し合ったのは昨年秋のことであつたらうか。

「御宿の子どもが、野沢へスキーに。野沢の子どもが御宿へ海水



浴に。

スキー場の一流と、海水浴場の一流と。どちらも名の通った小さな自治体。どちらも外国と交流のあるユニークな観光地。実によく似ている。きつとびったり行くのではないか」と。

十分に研究しましょうと、冬がすぎ、春がすぎた。片桐匡さんと私について語る必要がある。片桐匡さんと私は全日本スキー連盟理事会で、七、八年のつき合いです。しかしほんとうはもつとずつと古いつき合いだともいえる。

# 片桐さん との 出あい

少年の日の片桐匡さんは、戦前隆盛だった御宿のサンドスキーによく通ってきた。少年の日の私はサンドスキーを通じてほんものの

雪のスキー場に通った。そして熱中した。

昭和十五年、第二回全日本スキー連盟指導員検定会が野沢で開かれた。この時私は、盲、蛇におじず敢然と受検した。この検定会が日本スキー史に残るすごい検定だとは夢にも知らなかったのである。目のくらむような「日影のカベ」

## 少年よアタツクしろ

さて今年の夏、片桐匡さんが御宿へやってきた。交流の話がでた

大いに語り意気投合した。一月ほどして野沢が生んだ名ジャンパー森覚さんが御宿へやってきた。その交流の話、いよいよジャンプしませんが。そうだ。海と山の取り組みの失敗例をいくつか知っている私は慎重にすぎたようだ。私

## 野沢温泉村へ発つ

十月八日(水) 風雨のち薄日。

台風十三号に引きつづき低気圧通過のため一晩中暴風雨。朝も風雨が吹き荒れていたが、そんなことをいついたのでは何日に行けるかわからぬ。出発することにする。

の直滑降に乾坤一てきの挑戦、幸運にも数少ない合格者となって、二級技術章をもらい、夢ではないかと喜んだ。思えば遠い十八歳のときである。それ以来、野沢は私の心のふるさとのスキー場である。そして幾星霜、そのような仲間が今、全日本スキー連盟の幹部となっている。

にとつて野沢とだけは気まづくないたくないものだから。

それにしても野沢と御宿とは良縁組みだと思う。これ以上の縁組みは考えられないと思う。よし、これはなんとでも仕上げよう。それには、まず、野沢を訪問しなければならぬ。

る。金井、そして貝塚、井上(泰)町議、関(観光課)の四名。七時五

八分わかしお一号御宿発、上野一〇時三四分あさま三号長野着、三時三三分、長野電鉄特急湯田中行一四時発、信州中野で木島行に乗り換えるため下車したところ、

片桐匡さんの出迎えを受ける。電車を乗りすて、片桐匡さんの車で野沢温泉へ、二三キロ。一五時前、野沢温泉朝日屋旅館着。朝日屋主人富井馨さんは前村長、現観光協会长。早速用意された車で標高一二〇〇米の上の平スキー場へ向う一二キロ。眼の前に展開する大眺望。富井馨さん、片桐匡さんの要を得た説明で今まで知らなかったことをたくさん発見。海拔一六五〇米の温泉スキー場まで、標高差一〇〇〇米の大斜面。尾根や沢をきれいに手入れされたスキーコースが何本も走っている。全長五五〇〇米の初心者コース。三五〇〇米の上級者コース。二〇〇〇米の競技用コース。三十五年前、私が息をのんで挑戦した「日影のカベ」は猫のヒタイほどに小さく遠い。雄大な構想にもとずく、すばらしいスキー場づくりである。

スキー場面積一四六ヘクタールスキーリフト二四本。その延長二〇〇〇米。チェア二〇二七席。一時間当り輸送能力一七〇〇人

民度が高く、ゆとりある村

客(スキーがほとんど)八十万人一人当たり四〇〇〇円消費とみて、観光収入三〇億以上と推察(私の

民度がどうして、こう高いのか意外だったので、富井馨さんに聞きにくいことを聞いてみる。観光

従業員二六〇名。建設費現在価格換算約一〇億円。売上げ四億五千万円。利益二億円。これが全部村営事業である。外資の侵入を許さない、村ぐるみの理想的なスキー場の在り方として、全国的に注目されている。また村営のヒュッテや食堂も収益をあげている。さらにトップシーズンには一日一〇〇便九人乗りのヘリコプターがスキーヤーを山頂に運んでいる。

帰途、公民館兼体育館に案内される。すでに日が暮れかけていて村の青年男女六〇〇人が整然と、しかし華やかに会議をやっていた教育委員会坂井田繁さんの説明で館内一巡。昭和四十五年から四十七年にかけて建設二八八平方メートル建設費当時一億九千万円、現在価格では四億近くであろう。地下駐車場まで備えた近代建築である。豊富な民俗資料の展示。観光写真展。年中行事が写真パネル板で陳列されていて、何かすばらしい公民館活動を感じる。

民度が高く、ゆとりある村

客(スキーがほとんど)八十万人一人当たり四〇〇〇円消費とみて、観光収入三〇億以上と推察(私の

民度がどうして、こう高いのか意外だったので、富井馨さんに聞きにくいことを聞いてみる。観光

推察である)、この経済的ゆとりが村人たちの人相を良くし、文化活動を盛んにさせているのであるう。

宿舎朝日屋に帰ったところ、私の来訪を知った森覚さんが待っていた。富井馨さん、片桐匡さん。森覚さんと夜食をともしし欲談。



空からみた野沢温泉村全景

### ●十月九日(木) 快晴

九時役場へ。村役場は温泉街を見下ろす坂の上にある。古い由緒ありげな建物である。森敏雄村長月岡教育長が待っておられた。富井馨観光協会長、森覚民宿副組合長同席でさっそく話し合い。森村長はどこかで会ったことがあると思つたら、元全日本スキー連盟理事、長野県連盟理事長。混迷する全日本スキー連盟の話など若干。

子どもの交流については全員一も二もなく賛成。大すぢだけを決め細部については後日、双方推進のうえ持ちよることとする。

対象は中学一年生を主力。一〇〇人位。民宿。二泊三日。バス。スキーは十二月二十日前後、海水浴は七月二十日前後、学校、教育委員会、PTA、民宿、町議会等と協議。役場で約一時間。富井馨さん、森覚さんの案内で野沢名物のナメコの栽培、野沢菜の畑などの現場を見学。森覚さんの自宅は新築のモダンなロッシ風の民宿である。ロビーで名物のとうもろこしをごち走になり、ナメコをたくさんおみやげにいただいた。こ

らはみやげを持参しないのに恐縮温泉の源泉、温泉街を一巡。野沢小唄にある通りである。

「ユラユラユラリは湯のけむりチャラチャラチャラリは水の音」実に情緒のある坂道の温泉街を通って温泉プールへ行く。

温泉プールは温泉利用の常温が特長。五〇米日本水泳連盟公認。一〇米飛込台、地形利用の階段観覧席の立派なもの。これが戦後混迷の昭和二十五年建設というから驚かされる。古橋広之進選手の指導を受けたこのこと。村のメインスポーツをスキ

## 郷土の美風呼びもどそう

かねてから素ぼくな人柄、細やかな人情をうたわれた土地柄である村長室での会談の折り、たまたま最近の各観光地にみられる人心の荒廃に話題がおよぶや富井馨氏から意外な裏話を持ち出された。

昭和三十五年ごろ、野沢の人たさが房総視察旅行にきたおり、御宿にも立ち寄ったことがある。そのとき御宿で受けた扱いは、いままでの他の各地とうって変った好意と親切にあふれたものであった

実にていねいに、徹底的に案内し

いと水泳ときめ、スキーはオリンピック選手の手力を占めるに至らしめた、この土地の先人はなんと偉大な人たちであったのだろう。朝日屋にもどり、大好物のナメコご飯をごちそうになり、時計とにらめっこで木島駅まで送っていただく。ほんとうにお世話になりました。一三時三一分木島駅発、信州中野で温田中からくる志賀一号に乗車、一三時四〇発、上野駅着一八時一二分。東京駅発一九時で帰宅。

てくれた。永久に忘れられない。あの時のその人はいまだどうしているだろう。(市東袈三郎さんことである。)

子どもの交流の話がでたとき、あの御宿とならばと、一も二もなく大賛成となったとのこと。心あたたまる思いであった。

義侠の心と人情の濃さは、メキシコ塔の史実に見るわれらが先祖の本領であるが、最近の御宿は金銭至上主義に毒され、人心が荒れている傾向が見える。悲しいこと

だ。

この律気で素朴な、そしてこよなく郷土を愛する野沢温泉村の人たちとの交流によって、わが郷土古来の美風を呼びもどしたいと切に願うものである。

注一、人の紹介

片桐匡(タダシ)氏

野沢温泉村スキークラブ会長。

長野県スキー連盟会長。全日本スキー連盟常任理事。長野県体育協会副会長。日本アルペンスキー往年の名選手。オリンピック監督等

富井馨(カオル)氏

野沢温泉村観光協会会長。前村長(三十七年〜四十九年の十二年間)。朝日屋旅館主人。片桐匡氏実兄。全日本スキー連盟公認指導員。

森覚(サトル)氏

野沢温泉村民宿副組合長。長野県スキー連盟理事。国体ジャンプ壮年組優勝。民宿ヤマキ、スキー場食堂ヤマキ主人。全日本スキー連盟公認指導員。

坂井田繁(シゲル)氏

教育委員会係長。スキー選手。五三年冬期国体事務局係長。

森敏雄氏

野沢温泉村村長。前村議会議長(三六年〜四八年の十二年間)。

元長野県スキー連盟理事長。元全日本スキー連盟理事。元明治大学スキー部ジャンプ選手。

月岡恒雄氏

野沢温泉村教育長。五三年冬期国体事務局長。

注二、野沢温泉村アウトライン

①長野県下高井郡野沢温泉村

②上野より特急三時間で長野、長野電鉄で特急四四分木島、一三キロ。または飯山線で戸狩二キロ。

③スキーと温泉。野沢菜とナメコ、とうもろこし。

④何よりもスキー選手の名産地

富井初子(アルペン女子三冠王)

杉山進(オリンピック、アルペン)

富井一(オリンピック、アルペン)

佐藤和男(オリンピック、ノルディック)

松村天治( )

富井澄博(札幌オリンピックアルペン)

片桐美雪( )

片桐幹夫(世界選手権インスブルックオリンピック特別強

化選手、ヨーロッパスキー留学中、片桐匡氏令息)その他多数

⑤面積五〇千平方メートル(御宿町は二五平方メートル)

人口五〇〇〇人(御宿町は八五〇〇人)

⑥上水道給水人口五〇〇〇人、下水道延長一、五七六米、ガス各戸配管、全戸完備)

⑦旅館三〇軒(四五〇〇人収容)

⑧全日本スキー連盟公認スキー学校。全日本スキー連盟公認指導員六〇名。貸スキー、貸靴五〇〇〇組。

⑨オーストリア国サンアントン村と姉妹村提携。昭和四六年二月七日。以来毎年一五人位の往復あり。少年スキー選手スキー留学。ジュニア強化費五〇〇万円(リフト収益より)

⑩五三年冬期国体開催地。昭和五年。昭和三年にも国体を開催している。

以上各項で推察されるようにきわめて民度の高い村である。

海と山の子どもの交流実行委員

会長	金井英一郎	御宿町観光協会会長
委員	目良 省二	那教育委員会教育長
	布留川秀夫	学校教育課長
	遠山農夫雄	御宿中学校校長
	露崎 與孝	教頭
	佐藤 芳男	一学年主任
	浅野 航深	教務主任
	川名 敏之	生活指導主任
	松本光一郎	PTA会長
	渡辺 利雄	副会長
	石川 勝	役員
	藤井 芳枝	役員
	大石 和子	役員
	小高 光子	役員
	末田 敏子	役員
	田辺 彩子	役員
	鶴岡 芳江	役員
	幸保ひさ子	役員
	鈴木美也子	役員
	松本 なを	役員
	君塚登久衛	役員
	田中 岩雄	御宿町民宿組合会長
	井上弥太郎	副組合長
	市東製二郎	観光協会副会長
	岩崎栄一郎	議会議長
	貝塚 徳治	議員
	井上 泰爾	議員
	松本 建二	商工会青年部長
	関 亨	顧問
	松崎 啓二	体育協会理事長
	齊藤 広恵	青少年相談員会長
	滝口 栄蔵	総務課長
	高橋 金夫	観光産業課長

御宿町議会議長 岩崎栄一郎  
副議長 江沢一雄

議会選出議員名

議席番号	氏名	生年月日	職業	住所	電話番号
1	鶴岡光雄	昭3.8.20	製材業	御宿町須賀597	2504
2	藤井界	昭2.11.3	会社社長	" 新町776	2745
3	神楽祐司	大7.11.21	パソコン販売業	" 岩和田1128	2261
4	岩崎栄一郎	大12.9.18	無職	" 岩和田1047	2563
5	関野正治	大13.10.1	農業	" 岩和田1058	2541
6	鶴岡平一郎	大8.12.4	会社員	" 岩和田939	3456
7	井上泰爾	昭2.10.21	農業	" 高山田1831	8537
8	貝塚徳治	大11.12.28	鉄工業	" 新町168	2337
9	石田行雄	大7.8.16	農業	" 岩和田1010	4059
10	吉野寅造	大6.4.2	農業	" 実谷210	8201
11	小池健	明38.4.17	無職	" 久保1923-2	3607
12	白鳥時雄	大10.11.12	旅館業	" 浜2163	2229
13	高梨秀治	昭4.1.12	農業	" 久保2163	2145
14	江沢富士松	大2.8.10	縫製業	" 岩和田925	2797
15	佐藤高二	大12.5.8	農業	" 上布施2159	8404
16	式田初夫	昭3.5.26	会社役員	" 浜334	2054
17	井上千太郎	大7.8.10	漁業	" 久保2031	2480
18	江沢一雄	昭2.10.18	商業	" 六軒町486	2201

名称	人員	氏名	備考
夷隅郡教育委員会 運営協議会委員	2	岩崎栄一郎 小池健	議会議長 教育民生委員長
評価委員会委員	3	高梨秀治 石田行雄 江沢富士松	議会議員
プール運営委員会 委員	5	石田行雄 鶴岡平一郎 井上泰爾	白鳥時雄 貝塚徳治
開発協会理事	7	岩崎栄一郎 高梨秀治 石田行雄 小池健	鶴岡平一郎 江沢一雄 式田初夫
高校期成会	6	岩崎栄一郎 小池健 江沢富士松	江沢一雄 井上泰爾 関野正治
開発審議会委員	5 以内	岩崎栄一郎 江沢一雄 小池健	江沢富士松 井上泰爾
夷隅地区開発連絡 協議会委員	2	岩崎栄一郎 井上泰爾	議会議長 議会議員
歴史民俗資料館運 営協議会委員	2	鶴岡平一郎 江沢一雄	議会議員
夷隅郡環境衛生 組合	1	岩崎栄一郎	議会議長 他に町長
監査委員	1	小池健	他に学識経験委員 吉野要

発行所 千葉県御宿町役場

発行責任者 岩井敏夫

編集者 加藤

長

□:おめでた:□



岩和田保育所全面改築事業は、  
工事費六千万円で仲佐工建工業  
(大原町)が落札しました。

落札

請書に登録者の住所・氏名等記入  
しなければなりません。  
3、実印は不用です。

新しい印かん証明書は、必ず登  
録証が必要です。

印鑑証明  
について

区 出生児 性別 保護者

区	出生児	性別	保護者
須賀	長谷部友美	女	均
久保	松本和義	男	憲一
新町	桜井清彰	男	満孝
六軒町	鷹中千恵	女	実
"	鶴岡竜也	男	喜太郎
"	江澤智明	男	正敏
上布施	高橋和香子	女	金幹

人口(10月末現在)

人口	前月との比較
男	四〇四七 △四
女	四五四四 △十
計	八五九一 △十四
世帯数	二二三八 三

区	九月 男	九月 女	計	死亡者	年令	死亡日
久保	鶴岡	久江	58	1	58	9月22日
新町	井上	利一	58	1	58	8月31日
"	君塚	静尾	81	1	81	9月23日
六軒町	井上	さきみ	63	1	63	9月14日
岩和田	殿岡	さだ	92	1	92	9月9日
"	松下	たつ	90	1	90	9月17日
実谷	君塚	志つ	89	1	89	9月24日
"	吉野	みさ	70	1	70	9月30日
上布施	井上	豊吉	91	1	91	9月1日